

9 - 4 沖縄地方とその周辺の地震活動(2000年5月~2000年10月)

Recent Seismic Activity in and around the Okinawa district(May 2000-October 2000)

気象庁・沖縄気象台

Okinawa District Meteorological Observatory, JMA

2000年5月から7月までと、8月から10月までの震央分布図を第1図(a),(b)に示す。

この期間、沖縄地方とその周辺でM4.0以上の地震は54回発生した。この期間の最大規模の地震は、7月14日09時07分と9月10日17時54分に台湾付近で発生したM6.0の地震であった。また、震源が活動図の範囲外となるが6月11日03時23分、台湾中部の地震(M6.2)と7月16日12時21分、バタン諸島(フィリピン)付近の地震(M6.5)がある。

また、南西諸島の地震観測強化を目的として、沖縄県粟国島、宮古島城辺、竹富町黒島の各島に観測点を設置、6月30日より運用を開始した。

(1) 沖縄本島近海の地震活動

6月29日06時37分、沖縄本島近海(伊平屋島の西約70km)で発生した地震(M4.2)により、国頭村および伊平屋島で震度1を観測した。

(2) 宮古島近海の地震活動

5月9日22時50分、宮古島近海(宮古島の北約30km)で発生した地震(M4.3)により、宮古島で震度3、多良間島で震度1を観測した。

宮古島の南約50kmの海域では、9月21日から30日にかけて地震活動がやや活発化し、震度1の有感地震(M4.3)を含め26回の地震を観測した。

(3) 西表島付近の地震活動

8月27日22時13分、石垣島近海(西表島の北約10km)で発生した地震(M3.9)により、西表島で震度3を観測した。この震央付近では、8月2日頃から地震活動がやや活発となり、8月30日までに、8回の有感地震(最大M3.9,最大震度3)を含め28回の地震を観測した。

(4) 与那国島近海の地震活動

与那国島の南東約40kmの海域では、10月7日から地震活動が活発となり10月31日までに、2回の有感地震(共にM4.0,最大震度1)を含め75回の地震を観測した(領域A,別紙)。

(5) 台湾付近の地震活動

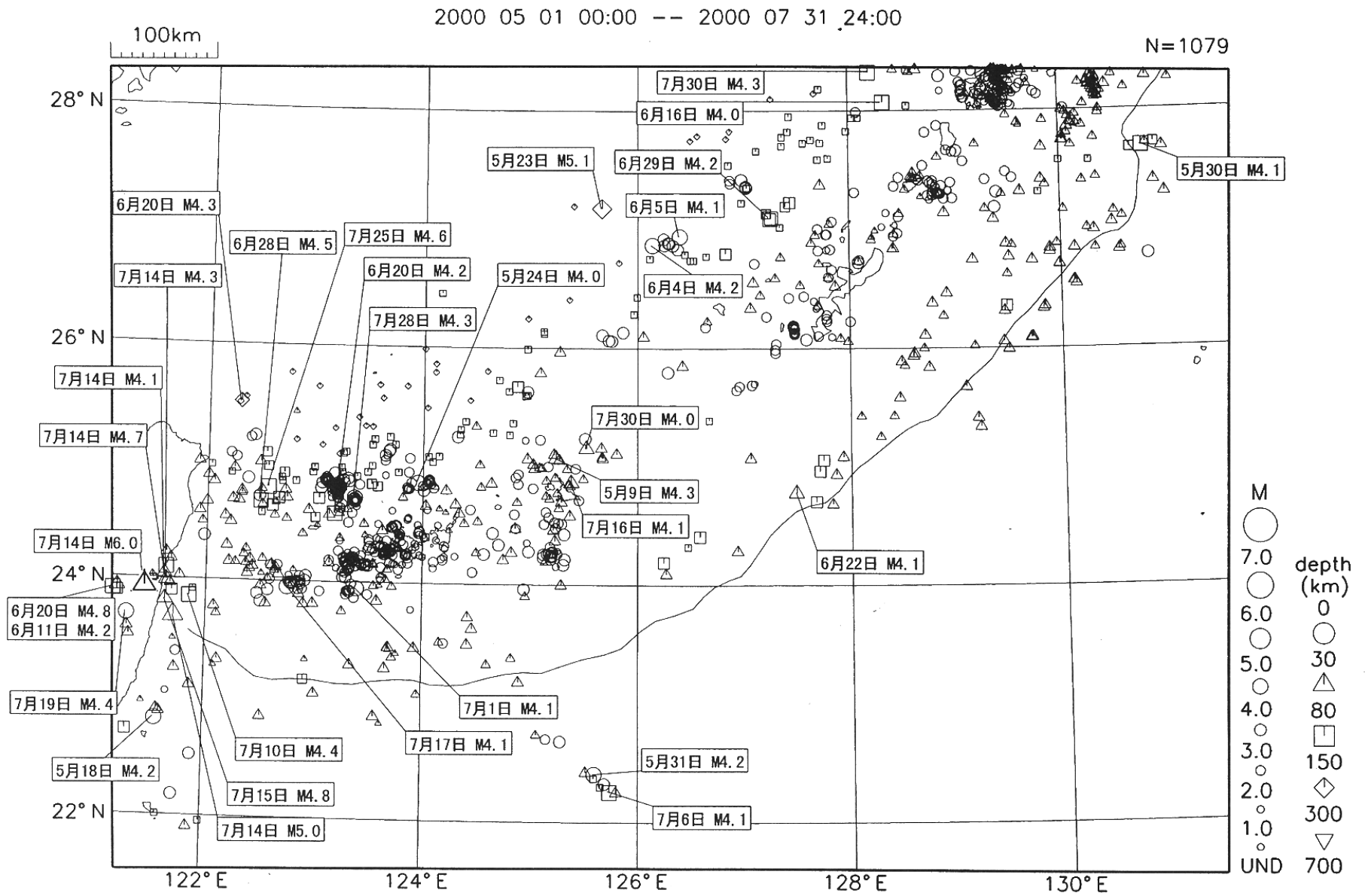
6月11日03時23分、台湾中部で死傷者を伴う地震(M6.2)が発生し、与那国島および西表島で震度1を観測した。

7月14日09時07分、台湾(花蓮)付近でM6.0の地震が発生した。メカニズム(JMA)は、北西-南東方向に主圧力軸を持つ逆断層型であった。

7月16日12時21分、バタン諸島(フィリピン)付近で、発生した地震(M6.5)により西表島で震度1を観測した。メカニズム(HARVARD)は、東西方向に主圧力軸を持つ横ずれ型であった。この付近では、7月4日から18日までにM4.0以上の地震を6回観測した(別紙)。

9月10日17時54分、台湾(花蓮)付近で発生した地震(M6.0)により与那国島で震度1を観測した。

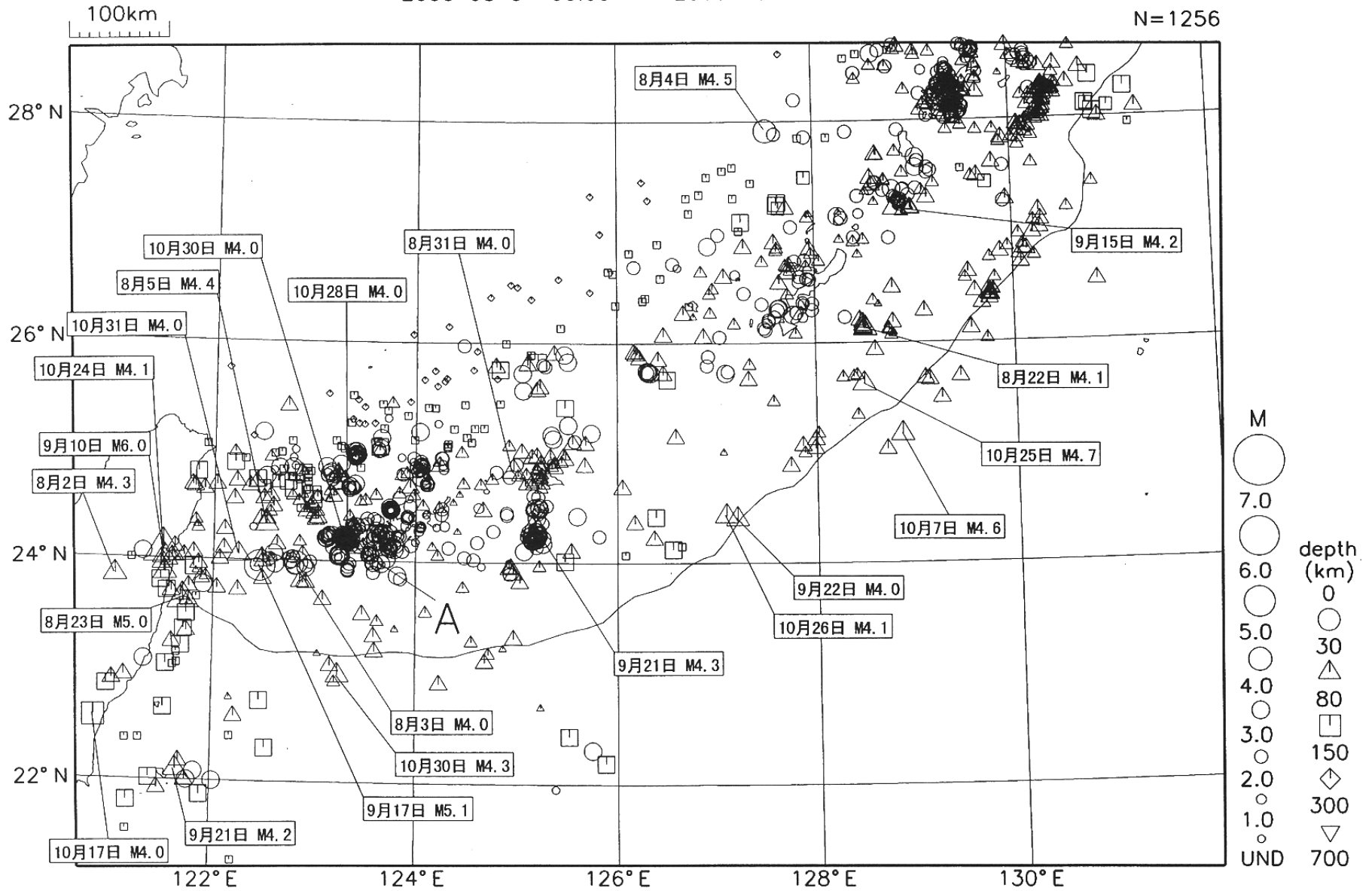
9月17日08時04分、台湾付近(与那国島の南西約80km)で発生した地震(M5.1)により与那国島および西表島で震度1を観測した。



第1図(a) 震央分布図 2000年5月~2000年7月
 Fig.1(a) Epicenter distribution (May , 2000 - July , 2000)

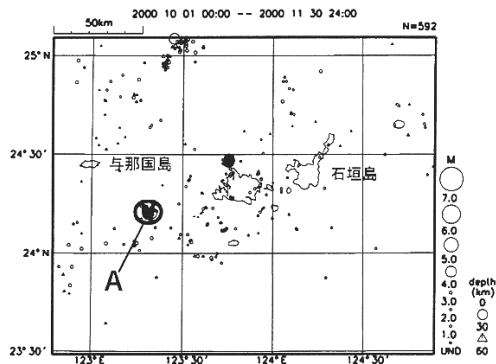
2000 08 01 00:00 -- 2000 10 31 24:00

N=1256

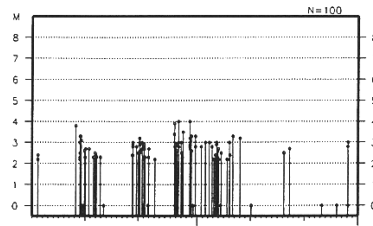


第1図(b) つづき 2000年8月~2000年10月

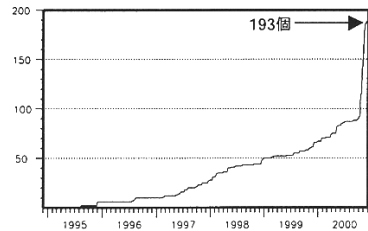
Fig.1(b) (Continued) (August, 2000 - October, 2000)



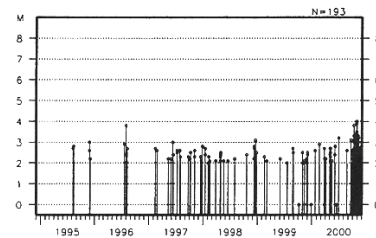
1-①八重山諸島付近の震央分布図



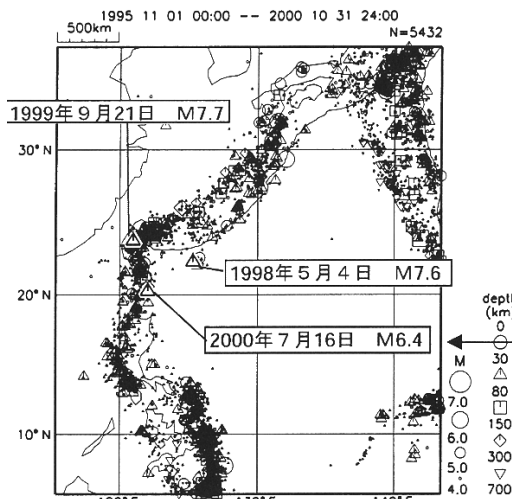
1-②領域A内の地震活動経過図
(期間：2000年10月1日～11月30日)



1-③領域A内の地震回数積算図
(期間：1994年12月1日～2000年11月30日)



1-④領域A内の地震活動経過図
(期間：1994年12月1日～2000年11月30日)



2-①台湾・バタン諸島付近の震央分布図



Date: 2000/ 7/16 Centroid Time: 3:21:48.8
GMT
Lat= 20.35 Lon= 122.10
Depth= 31.1 Half duration= 3.8
Centroid time minus hypocenter time: 3.8
Moment Tensor: Expo=25 -0.260 3.990
-3.730 -0.190 1.580 -0.970
Mw = 6.4 mb = 6.2 Ms = 6.2 Scalar
Moment = 4.29e+25
Fault plane: strike=234 dip=72 slip=-169
Fault plane: strike=140 dip=80 slip=-18

2-②CMT解 (HARVARD)

- 第2図 1- 八重山諸島付近の震央分布図 (2000年10月～11月),
 1- 矩形A内の地震活動経過図 (2000年10月～11月),
 1- 矩形A内の地震回数積算図 (1994年12月～2000年11月)
 1- 矩形A内の地震活動経過図 (1994年12月～2000年11月),
 2- 台湾とバタン諸島付近震央分布図(November 1 1995 - October 31 2000)
 2- CMT解 (HARVARD)

- Fig.2 1- Epicenter distribution in and around Yaeyama Islands(October 1 2000 - November 30 2000),
 1- M-T diagram in region A (October 1 2000 - November 30 2000) ,
 1- Cumulative number of earthquakes for region A (December 1 1994 - November 30 2000) ,
 1- M-T diagram in region A (December 1 1994 - November 30 2000) ,
 2- Epicenter distribution in and around Taiwan and Batan Islands(November 1 1995 - October 31 2000)
 2- Centroid moment tensor (HARVARD)